

安達地方広域行政組合告示第16号

安達地方広域行政組合財政状況の作成及び公表に関する条例（昭和47年安達地方広域行政組合条例第19号）の規定に基づき、令和6年4月から令和6年9月までの財政状況及び前年度決算の概要について公表する。

令和6年12月1日

安達地方広域行政組合管理者 三保 恵一

安達地方広域行政組合財政状況

1 収入及び支出の概況

区 分	収 入	支 出
令和6年4月	294,484,434円	436,809,132円
令和6年5月	293,608,948円	241,472,084円
令和6年6月	526,406,566円	319,538,606円
令和6年7月	285,036,079円	194,072,044円
令和6年8月	987,860,394円	875,937,023円
令和6年9月	288,516,966円	398,879,820円

2 財産

(1) 期間中に取得した財産

① 公有財産

なし

② 物品（取得価格100万円以上のものを記載）

なし

③ 基金（積立額）

・財政調整基金

57,808円

・消防施設整備基金

100,000,000円

(2) 期間中に処分した財産

① 公有財産

なし

② 物品（更新に伴う処分を除く。）

なし

③ 基金（取り崩し額）

なし

3 組合債現在高（令和6年9日末日現在）

603,281,674円

4 一時借入金の現在高

0円

5 前年度決算の概況

(1) 総括

令和5年度一般会計及び特別会計の決算総額は、歳入決算額が3,617,442,265円、歳出決算額が3,275,793,931円で、差引残額は341,648,334円となった。

(2) 一般会計

① 決算の規模

歳入が3,614,396,193円、歳出が3,272,747,859円、差引341,648,334円となり、前年度と比較すると歳入で1,073,128,853円（22.9%）の減、歳出で1,176,564,290円（26.4%）の減となった。

② 決算収支

財政運営の状況を判断するための基準とされる当年度実質収支額は、341,518,194円となった。

③ 歳入の状況

1款の分担金及び負担金は、決算額3,047,406,000円で、前年度と比較して56,682,000円（1.9%）の増となっている。

2款の使用料及び手数料は、決算額126,175,391円で、前年度と比較して6,917,727円（5.2%）の減となっている。主なものは、あだたら聖苑関係使用料28,690,200円、もとみやクリーンセンター関係手数料72,152,705円、あだたら環境共生センター関係手数料22,575,930円などである。

3款の国庫支出金は、決算額2,451,441円で、前年度と比較して231,557円（10.4%）の増となっている。内訳は廃棄物処理施設モニタリング事業費補助金1,785,300円、原子力災害避難指示区域活動費交付金666,141円である。

4款の県支出金は、決算額6,981,608円で、前年度と比較して1,045,589,098円（99.3%）の減となっている。内訳は、福島県救急業務高度化推進事業補助金871,000円、福島県新型コロナウイルス感染症医療提供体制整備事業負担金110,608円、福島県地域医療介護総合確保基金事業補助金6,000,000円である。

5款の財産収入は、決算額26,557,971円で、前年度と比較して2,105,646円（7.3%）の減となっている。内訳は財産売払収入として、もとみやクリーンセンターにおける資源物売払収入23,018,347円、不用品売払収入2,366,910円、その他は財産運用収入である。

6款の寄附金は、前年度に引き続き収入がなかったものである。

7 款の繰入金は、決算額 21,000,000 円で、前年度と比較して 100,810,400 円 (82.8%) の減となった。安達地方地域振興基金から、水槽付消防ポンプ自動車及び高規格救急自動車の更新に充当したものである。

8 款の繰越金は、決算額 238,212,897 円で、前年度と比較して 6,953,786 円 (3.0%) の増となった。

9 款の諸収入は、決算額 53,210,885 円で、前年度と比較して 73,973,325 円 (58.2%) の減となった。主なものとして、容器包装リサイクル協会拠出金 21,841,750 円、高速道路救急業務支弁金 5,696,480 円などである。

10 款の組合債は、決算額 92,400,000 円、計 4 件の借り入れを行い、脱炭素化推進事業債 4,000,000 円をもとみやクリーンセンターLED照明器具更新工事に、消防施設整備事業債 14,500,000 円を高規格救急自動車更新に充当し、さらに緊急防災・減災事業債 73,900,000 円のうち 64,600,000 円を水槽付消防ポンプ自動車更新に、9,300,000 円を南消防署非常用発電設備更新にそれぞれ充当したものである。

なお、調定額に対する収入済額の比率（収入率）は 100% で、不納欠損額及び収入未済額はなかった。

④ 歳出の状況

1 款の議会費は、決算額が 657,263 円（執行率 93.0%）で、前年度と比較すると 26,570 円（4.1%）の増となっている。

2 款の総務費は、決算額が 112,795,571 円（執行率 98.9%）で、前年度と比較すると 1,975,493 円（1.7%）の減となっている。

3 款の衛生費は、決算額が 1,715,310,683 円（執行率 96.3%）で、前年度と比較すると 1,229,653,991 円（41.8%）の減となっている。主な要因は、除染廃棄物減容化事業が令和 4 年度で終了し、各施設における電気料及び維持補修費が減額になったことによる。

4 款の消防費は、決算額が 1,296,381,669 円（執行率 93.7%）で、高規格救急自動車、水槽付消防ポンプ自動車及び南消防署の非常用発電設備を更新したことにより、前年度と比較して 75,003,251 円（6.1%）の増となっている。

5 款の公債費は、定期償還に係るものであり、決算額は償還元金 146,062,396 円及び償還利子 1,540,277 円で合わせて 147,602,673 円（執行率 99.9%）で、化学消防ポンプ自動車及び消防救急無線デジタル化活動波整備事業の償還が令和 4 年度で終了したことにより、前年度と比較して 19,964,627 円（11.9%）の減となっている。

歳出における不用額は 345,311,541 円で、執行率は 88.6% である。

(3) 安達地方地域振興事業特別会計

① 決算の規模

歳入歳出ともに 3,046,072 円で、前年度と比較すると歳入歳出ともに 321,145 円 (9.5%) の減となった。

② 決算収支

当年度実質収支額は 0 円であり、翌年度への繰越はなかった。

③ 歳入の状況

1 款の基金収入は、決算額 3,046,072 円で、前年度と比較して 321,145 円 (9.5%) の減となっている。内訳は地域振興基金繰替運用益 2,929,042 円、地域振興基金預金利子 117,030 円であり、2 款繰越金及び 3 款諸収入の決算額は全て 0 円となっている。

④ 歳出の状況

1 款の基金造成費は、決算額が 346,072 円 (執行率 100.0%) で、前年度と比較して 21,145 円 (5.8%) の減となっている。

2 款の事業費は、決算額が 2,700,000 円 (執行率 100.0%) で、前年度と比較して 300,000 円 (10.0%) の減となっている。これは文化振興支援事業として、構成市村に対して補助したものである。

歳出全体における不用額は 9,928 円で、執行率は 99.7%である。

(4) 基金

① 安達地方地域振興基金

令和 5 年度末残高は現金及び一般会計への繰替運用分と合わせて 1,194,649,339 円で、前年度と比較して 346,072 円の増となっている。

② 安達地方広域行政組合財政調整基金

令和 5 年度末残高は 115,302,030 円で、前年度と比較して 23,182 円の増となっている。これは預金利息の積立てを行ったものである。

③ 安達地方広域行政組合廃棄物処理施設整備基金

令和 5 年度末残高は 316,535,109 円で、前年度と比較して 50,054,052 円の増となっている。内訳は預金利息 54,052 円のほか、一般会計から本基金へ 50,000,000 円を積立てたものである。